

同時発表：国土交通省鉄道局  
北陸信越運輸局

令和6年7月19日  
中部運輸局鉄道部

地方鉄道事業者間の業務連携検討を支援します！  
～並行在来線（北陸新幹線）事業者間連携による  
業務効率化の取り組み～

近年、我が国の鉄道が抱えている諸課題を踏まえ、鉄道事業者間で連携することによる業務効率化を実現するため、北陸新幹線の並行在来線事業者をモデルケースとして、昨年12月より各鉄道事業者と国土交通省間で具体的な連携項目の検討を行ってきました。今般、事業者間連携の検討結果をとりまとめましたので、公表します。

我が国の鉄道は、沿線人口の減少、施設の老朽化、維持管理等にかかる要員不足等の課題を抱えている状況です。

将来にわたって鉄道を安全に運行していくためには、各事業者が保有する鉄道施設・設備や車両等の維持管理にかかる業務、社員教育や各種実務訓練等の技術力維持・向上にかかる業務について、鉄道事業者間で相互に連携して各業務の効率化・合理化を図っていくことが、課題解決の一つの有効な方策であると考えています。

このような考えのもと、全国の各鉄道路線の地理的特性等を踏まえ、まずは、北陸新幹線の並行在来線事業者をモデルケースとして、各社が相互に連携することで業務効率化できる項目について、昨年12月より、各事業者と国土交通省間で検討を行ってきました。

【検討メンバー】

しなの鉄道（株）、えちごトキめき鉄道（株）、あいの風とやま鉄道（株）、  
IRいしかわ鉄道（株）、（株）ハピラインふくい  
（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構（オブザーバ）  
国土交通省鉄道局、北陸信越運輸局、中部運輸局（共同事務局）

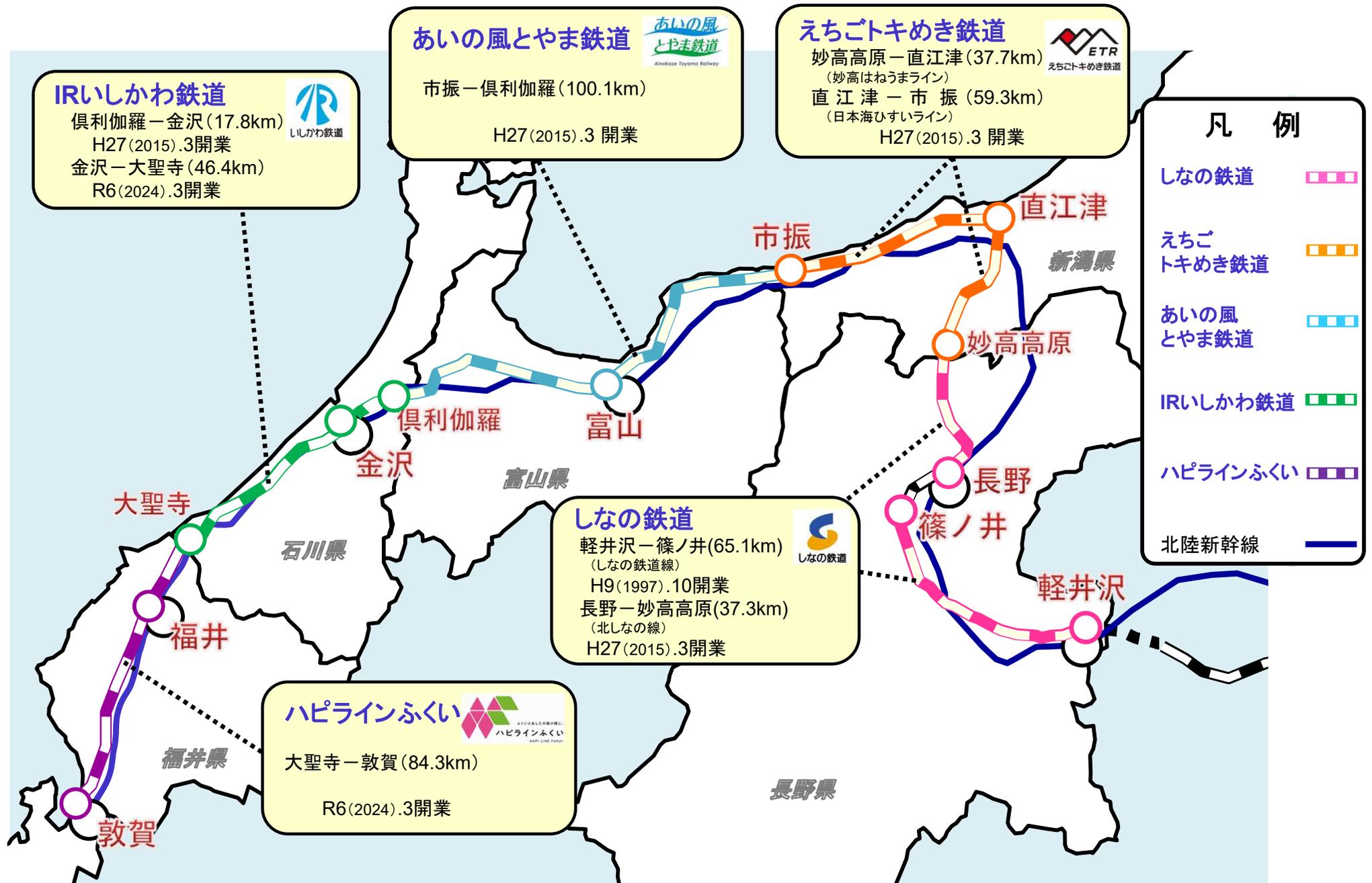
これまでの検討の結果、別紙に示すような事業者間連携により業務効率化を推進していくこととなりましたので、紹介します（既に実施中の連携項目を含む）。

国土交通省は、引き続き各事業者の業務効率化に資する方策の実現に向けて取り組んでいきます。

【問い合わせ先】

中部運輸局 鉄道部技術・防災課 担当 山田、吉村  
電話 052-952-8032

# 並行在来線(北陸新幹線) 路線一覽

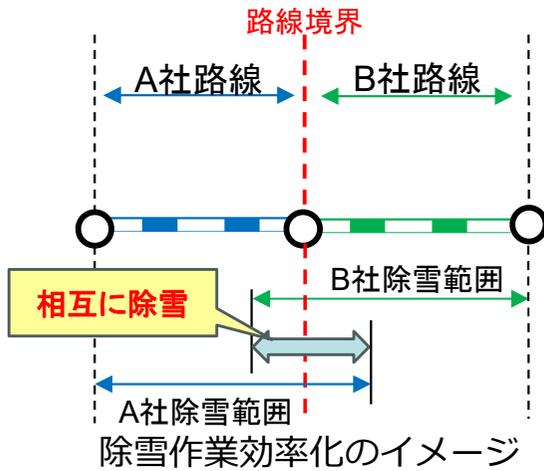


## 事業者間連携項目の例

全事業者間または隣接事業者間同士の連携により業務効率化に資する様々な取組みを推進

### 隣接事業者区間の除雪支援

大雪時等において路線境界を越えて排雪車両を相互に乗り入れることにより、双方の除雪作業を効率化するとともに、安定輸送を確保



排雪車両 (ラッセル車)

### 車両予備品リストの共有・相互融通

各事業者が保有している車両予備品のリストを共有し相互融通することにより、車両部品更新時の調達業務を効率化・経済化

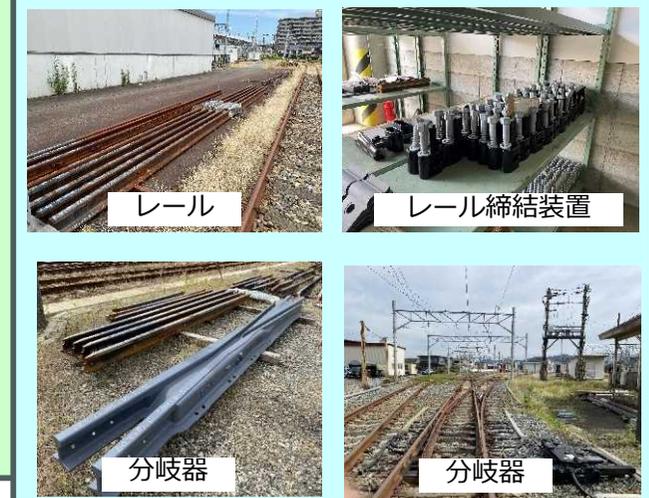
番号	品名	品番	車両形式	備考
1	パンタグラフ	AAA	100型	中古品
2	主電動機	BBB	200型	中古品
3	制輪子	CCC	300型	新品
4	.....			



車両予備品リスト共有 (イメージ)

### 軌道関連予備品の共同購入・相互利用

レールや分岐器等の予備品を隣接事業者間で共同購入・相互利用することにより、部品管理を合理化するとともに、異常時等における迅速な対応に寄与



共同購入・保管 (イメージ)

## 事業者間連携項目の例

全事業者間または隣接事業者間同士の連携により業務効率化に資する様々な取組みを推進

### 各社の年間訓練（輸送・施設） スケジュール共有・相互見学

これまで各社個々に実施していた訓練について、スケジュールの共有及び相互見学を実施することにより、各社の技術レベル向上に寄与

月	A社	B社	...
4月	○脱線復旧訓練 ○ハンドロータリー 使用訓練	○列車防護訓練 ○災害時机上訓練	...
5月	○...	○...	...
...	○...		



車両脱線の  
復旧訓練

年間訓練スケジュールの共有  
(イメージ)

### 各社の教育担当者による 意見交換会実施

各社の教育・研修担当者レベルで構成する意見交換会の枠組みによる意見交換・相談の場を通じて、各社の技術レベル向上と両立した教育・研修業務効率化に寄与



いしかわ鉄道



Ainokaze Toyama Railway



えちごトキめき鉄道

### 教育担当者による意見交換会



ふくいあしたの架け橋に、  
ハピラインふくい  
HAPI-LINE FUKUI



しなの鉄道

- ・各社の技術レベル向上と両立した教育・研修業務効率化
- ・今後の更なる連携強化に向けた、担当者レベルでの関係性構築